



平成 20 年 5 月 22 日

各 位

会 社 名 ホウライ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 中尾 秀 光
(JASDAQ・コード 9679)
問 合 せ 先
常務取締役総合企画部長兼経理部担当
吉 森 俊 和
電 話 番 号 03-3546-2921

「内部統制システム構築の基本方針」の一部改訂に関するお知らせ

当社は平成 18 年 5 月 25 日開催の取締役会において、内部統制システム構築の基本方針を決議しておりますが、平成 20 年 5 月 22 日開催の取締役会において、下記のとおり一部改訂することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

(変更箇所は、下線で示しております。)

記

1. 取締役、使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

コンプライアンス体制については、策定済の「経営理念」、「行動指針」及び「コンプライアンス規程」を取締役及び使用人に周知徹底し、法令はもとより社内規程、企業倫理、社会規範に基づき、良識をもって行動することを徹底している。

内部監査室は他の本社管理部門及び事業本部から独立した立場で、遵守状況や体制が適切であるかをチェックする。

監査役会は内部監査室とも連携を図りつつ、独自の立場で遵守状況や体制が適切であるかを監視し、問題があれば取締役会に報告する。

取締役会は問題点の把握と改善に努め、適宜コンプライアンス体制の見直しを図る。

また、社会秩序や健全な企業活動を脅かす反社会的勢力とは一切の関係を持たず、不当要求には組織として毅然とした態度で対応する。

2. 取締役の職務の執行にかかる情報の保存及び管理に関する体制

情報管理体制については、「文書管理規程」、「情報セキュリティ管理規程」及び基準・ガイドラインを定め、情報資産の取扱いと保存・管理の体制を構築している。

3. 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

リスク管理体制については、「リスク管理基本規程」を定め、主要なリスクを認識のうえ、未然防止対策を講じたり発生した際の対応マニュアルを作成する等、万全を期している。

今後更に、全社に内在するリスクを見直し、体系的に管理を強化してゆく。

4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

取締役の担当区分を適切に定めると共に、経営会議や取締役会で業務計画の策定・計画の進捗管理等を適切に行うことにより、職務執行の効率性を確保している。

引き続き、施策の妥当性や経営資源の効率的配分等に関する協議や、組織・職務権限等効率性に係る規程の見直し等により、職務執行の効率性の向上を図ってゆく。

5. 企業集団における業務の適正を確保するための体制

当社においては、該当事項はない。

6. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項並びにその使用人の取締役からの独立性に関する事項

監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合は、協議のうえ、取締役の指揮命令を受けない使用人を監査役の補助スタッフとして置くことができるものとする。

7. 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制、その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

取締役及び使用人は、当社の業務執行状況、財務の状況、全社的に重大な影響を及ぼす事項等について監査役会へ適宜報告している。報告体制については今後適宜見直し、強化してゆく。

監査役は重要な意思決定のプロセスや業務執行状況等を把握するため取締役会、経営会議に出席するとともに、重要情報を閲覧し、必要に応じて取締役及び使用人に説明を求めている。

8. 財務報告の信頼性を確保するための体制

代表取締役は本基本方針、及び別途定める「財務報告に係る内部統制の基本方針」に基づき、財務報告に係る内部統制の整備及び運用を行う。

取締役会は、代表取締役が構築する財務報告に係る内部統制に関して、適切に監督を行う。

以上